

そして本闘争に對する聲明書を發表し中間ボギー車問題の次に來るであらう第二の更生案に依る闘争に備うべく、戦線の統一強化に向つて進み、更生案の彈壓に對する防衛の闘争を掩き起すこととなつたのだ。

以上によつて明らかなる如く中間ボギー車問題は單に錦糸堀線の問題のみでなく、全従業員にとつて實に重要な問題であつた、しかるに闘争は期待せし如く大衆的に發展せず、遅々として進まなかつたのである。此のことは本闘争が重大ではあるが、しかし乍ら今日は錦糸堀線の一局的な問題であり、當局の巧妙なる運轉計畫は、錦糸堀線に於てさへ、大衆の奮激が行動に發展せざる情態にあつたのだ。又此の闘争を全體的な闘争に發展せしめるには、宣傳煽動が執拗になされなければならぬにも拘はらず、文書に依る宣傳以外は餘りになされなかつた。殊に眞に大衆を奮起せしめる如き職場内に於ける宣傳煽動が効果的になされなかつたのである。更に現下の組合戦線の不統一は、大衆をして闘争に對する自信を失はしめ、斷乎として闘争せんとする氣力を初めより缺いてゐた。

以上の如きことが今度の闘争に對しての主なる缺陷として批判されるべきである。斯くて第二の更生案による序幕戦は我々の敗退に終つた。だが我々は此の敗北を通じて、次の彈壓に對して闘争するための勝利への光明を敗北の中より見出すことが出來たのだ。現下の切迫せる情勢の中に闘争を押し進めることの如何に

ある。

(2) 第三回常任委員会

東交臨時大會による本部役員の変更、大阪自助會の定期改選による本部員の異動の後を受け、交總第三回常任委員会は、六月三十日午後六時より大阪市電自助會本部に於て開催せられ各組合情勢報告の後左の如き議案を決定した。

一、交總役員決定の件

- イ、常任委員長 河野 平次
- ロ、關東地方委員長 熊本利男
- ハ、關西地方委員長 山名庄太郎
- ニ、財務部長 赤井利一郎
- ホ、学議部長 高橋藤藏
- ヘ、政治部長 熊本利男
- ト、教育出版部長 松田長左衛門
- チ、調査情報部長 柴田良雄
- リ、組織宣傳部長 戸田武七
- ニ、機關紙名義人變更の件 島上善五郎
- 可急的に委員長の名義に變更すること 西田 武
- 今井 清次郎
- 松井利一

困難にして、又障害の多いかをまざまざと體驗することが出來た。反動の魔の手が如何に我々の陣営内に延ばされてゐるかを又まざまざと知ることが出來た。我々は凡ゆる反動の魔手を、組織を強化することによつて斷乎として粉砕しなければならぬ。即ち東交を統一強化し市電全従業員は凡てが打つて一九となつて闘争することこそ今後の闘争に對して、先決問題として解決されねばならないのだ。斯くてこそ我々の闘争は勝利するのである。

五、交總常任委員会

(1) 關西代表と懇談會

交總の中堅である東交の混亂に對しては、關西に於ける全組合員大衆は非常なる關心を持つて其の成り行きを注視し、一日も早く東交の確立を望みつゝあつたが、交總關西地方委員会は三代表を派遣し、東交の確立を一日も早めんとしたのである。三代表は上京以來支部の會合にも出席し、又東交の兄弟に訴ふじらを作製して、自ら停留場で撒布し、十三日の大會には熱誠なる祝辭を述べられたのだ。

斯かる三代表の活動に對し本部は深く敬意を表すると共に斯くてこそ交總確立が實踐されるべきを信じたのである。しかして十四日三代表を中心に新本部全員参加し懇談會を開き隔意なき意見の交換をし、東交の確立と交總の強化のために今後より一層の努力を誓ひ最も有意義に懇談會を終つたので

三、フアツシヨ粉砕運動の件

交總としてフアツシヨ排撃のパンフレットを出すこと、凡ゆる會合又は研究会、茶話會を特に開きフアツシヨ排撃を大衆に浸透せしめること

四、東交統制問題に關する件

大衆の基礎に於ける統一方針を支持し連に統一せしめること

五、第二の更生案闘争に關する件

イ、電氣局の収入情態、缺損額等の財政情態を調査し研究すること

ロ、従業員に課せんとする内容及時期を調査すること

ハ、彈壓に對しては毫も假借することなく直に統一的なしかも強力な闘争をなし得る準備をすること

ニ、更に従來の闘争の失敗に鑑み最も巧妙な體衛闘争組織の點について研究すること

ホ、右の統一闘争を敢行するには機械な連絡を取ること

ヘ、何れの組合に突如彈壓が來ても直に常任委員會を開催して對策を協議すること、此の機宜の處置は委員長に委任すること

第四回常任委員会

次々に襲ひ來る電氣局の彈壓に對する斷乎たる闘争方針の樹立とその實踐、又此のために萎靡沈滞的な組合の現状打開の方針等を決定するため交總第四回常任委員会は、九月二十七日午後一時より東交本部に開催せられた。委員會の内容は